

ターザン 紐育へ行く (1942)

TARZAN'S NEW YORK ADVENTURE

メディア 映画

ジャンル アドベンチャー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 71分

初公開日 1949/12/27

公開情報 セントラル

【解説】

冒頭、ライオンや象の吃声等、一通りのジャングルの喧噪の描写のあった後、無音の画面、河深く潜って泳ぐターザン親子三人の姿にうっとり引き込まれる、おなじみワイズミュラー主演の6作目。飛行機好きのボーイが、猛獣狩りの一行に近づくと、原住民の襲来。助けに赴くターザンとジェーンを猛火が包む。そこをチンパンジーのチータが救って、彼らは、両親が死んだと思ってボーイを連れ去ったハンターを追う。特別あつらえのスーツでNYへ。ホテルのシャワーを“スコールだ”と嬉々として服を着たまま浴びるターザンが傑作。結局、ボーイはサーカス団に売られており、親権をめぐる法廷で争う場面があるのはいかにもアメリカ映画。ターザンはそんな手続きを逃れて、裁判所から旗のロープを伝って隣のビルへ。そして吊り橋の上から決死のダイヴ。サーカス小屋で大乱闘の末、息子を救い出すのだ。NYでなければならぬ描写など、実は全くないところがイージーではあれ、そここそがターザン映画のよさなのである。全篇に笑いでチータが大貢献。最後にはジャングルに帰って、象たちを相手に裁判のまねごとをする彼が、また笑わせてくれます。

【クレジット】

監督	リチャード・ソープ	Richard Thorpe
製作	フレデリック・ステファニー	Frederick Stephani
原作	マイルズ・コノリー	Myles Connolly
脚本	ウィリアム・R・リップマン	William R. Lipman
	マイルズ・コノリー	Myles Connolly
撮影	シドニー・ワグナー	Sidney Wagner
音楽	デヴィッド・スネル	David Snell
出演	ジョニー・ワイズミュラー	Johnny Weissmuller
	モーリン・オサリヴァン	Maureen O'Sullivan
	ジョニー・シェフィールド	Johnny Sheffield
	チャールズ・ビックフォード	Charles Bickford
	ヴァージニア・グレイ	Virginia Grey
	ポール・ケリー	Paul Kelly
	ラッセル・ヒックス	Russell Hicks
	マイルズ・マンダー	Miles Mander